

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街						
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援						
施策の基本方針								
すべての人が安心して健やかに地域生活を送るため、高齢者と各世代が支え合うぬくもりあふれるまちづくりを進めるとともに、特別養護老人ホームの定員拡大や救急医療体制の整備など、福祉・介護・医療サービスの充実を図ります。また、障がいのある人がいきいきと地域の中で暮らせるよう、それぞれのライフステージに応じて一貫した支援を受けられる体制を整備するとともに、就労促進策の拡充に向けて民間企業と協力して取り組みを進めます。								
計画事業費の執行状況								
施策番号	事業名	計画事業費	事業費(単位:千円)				進捗率(%)	
			23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	26年度(予算)		合計
施策1 福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援								
	地域包括支援センターの増設	438,000	0	0	193,200		193,200	44.1
	認知症サポーター等養成事業	3,000	1,197	1,067	750		3,014	100.5
	高齢者・障がい者生活あんしん支援センター充実事業	16,000	0	0	6,800		6,800	42.5
	孤立死防止・地域連携ネットワーク事業	11,000	2,650	2,856	1,600		7,106	64.6
	はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)	36,000	3,786	3,427	7,200		14,413	40.0
	(仮称)介護支援ボランティア事業の創設	30,000	0	0	9,124		9,124	30.4
	特別養護老人ホームの新築費補助事業	2,346,000	635,000	528,000	547,000		1,710,000	72.9
	エコリフォーム促進事業【再掲】	105,000	27,993	88,399	100,000		216,392	206.1
	健康と安心を支える医療体制の整備	6,000	3,242	1,292	1,720		6,254	104.2
	(仮称)救急安心センターさっぽろの設置	263,000	3,557	24,455	127,500		155,512	59.1
	精神科救急医療体制の整備	177,000	0	0	11,134		11,134	6.3
	ほっとけない・こころ推進事業	50,000	20,293	20,983	20,000		61,276	122.6
	特定健診を補う付加健診事業	150,000	57,855	57,487	90,647		205,989	137.3
施策2 障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援								
	障がい者相談支援事業の拡充	115,000	6,578	19,769	38,356		64,703	56.3
	障がい児・者支援体制強化事業(静療院改修)	1,458,000	20,478	90,245	1,590,000		1,700,723	116.6
	重症心身障がい者生活介護等受入促進事業	115,000	0	22,029	45,000		67,029	58.3
	障がいのある子どもへの移動支援の充実	386,000	0	841,797	42,372		884,169	229.1
	障がい者グループホーム等の拡充	124,000	5,896	25,326	31,000		62,222	50.2
	歩道のバリアフリー化	6,450,000	2,066,841	2,432,598	1,914,200		6,413,639	99.4
	地域ぬくもりサポート事業	15,000	0	2,500	4,000		6,500	43.3
	消費者被害防止ネットワーク事業【再掲】	20,000	5,159	5,234	4,886		15,279	76.4
	障がい者協働事業の拡充	166,000	4,396	16,565	43,684		64,645	38.9
	元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業	101,000	24,297	24,780	24,100		73,177	72.5
	障がい者元気スキルアップ事業	31,000	2,849	8,253	7,400		18,502	59.7
	障がい者就業・生活相談支援事業の拡充	109,000	6,595	25,359	34,880		66,834	61.3
	知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成事業	18,000	4,410	3,938	3,900		12,248	68.0
重点課題合計		12,739,000	2,903,072	4,246,359	4,900,453	0	12,049,884	94.6

注:事業費下線部は、前年繰り越し分を含めた額

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
達成目標の状況							
事業名 達成目標		22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策1 福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援							
地域包括支援センターの増設							
1	地域包括支援センター設置数	21ヵ所	21ヵ所	21ヵ所			27ヵ所 (25年度)
認知症サポーター等養成事業							
2	認知症サポーター養成数(累計)	17,227人	26,254人	33,264人			37,000人
高齢者・障がい者生活あんしん支援センター充実事業							
3	高齢者・障がい者生活あんしん支援センターによる 成年後見事業市長申立業務の実施	—	—	—			実施 (25年度)
孤立死防止・地域連携ネットワーク事業							
4	市民啓発に参加した人数	1,372人	2,256人	1,976人			1,400人
はつらつシニアサポート事業(高齢者地域貢献支援事業)							
5	シニアサロン設置数	11ヵ所	13ヵ所	14ヵ所			19ヵ所
6	シニアチャレンジ事業実施団体数	17団体	19団体	21団体			33団体
(仮称)介護支援ボランティア事業の創設							
7	ボランティア登録人数	—	—	—			2,000人
特別養護老人ホームの新築費補助事業							
8	特別養護老人ホームの入所定員数	4,356人	4,654人	4,894人			5,374人
エコリフォーム促進事業【再掲】							
9	一般住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数 (累計)	43戸	181戸	669戸			150戸
10	賃貸住宅のエコ・バリアフリー改修の補助利用件数 (累計)	—	4戸	8戸			30戸
健康と安心を支える医療体制の整備							
11	札幌市地域医療体制の整備計画の策定	検討	策定	—			策定 (24年度)
(仮称)救急安心センターさっぽろの設置							
12	電話相談窓口の開設	—	—	—			開設 (25年度)
精神科救急医療体制の整備							
13	1日あたりの空床確保数	1床	1床	1床			2床
ほっとけない・こころ推進事業							
14	自殺予防に関する研修会の参加者数	3,500人	4,919人	4,569人			4,000人
特定健診を補う付加健診事業							
15	付加健診受診者の割合	—	41.6%	82.1% (未確定)			30%

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街				
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援				
達成目標の状況						
事業名 達成目標	22年度末 (現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	26年度末 (目標値)
施策2 障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援						
障がい者相談支援事業の拡充						
16 障がい者相談支援事業所数	16ヵ所	17ヵ所	18ヵ所			20ヵ所
障がい児・者支援体制強化事業(静療院改修)						
17 障がい児・者医療・福祉複合施設の整備	—	設計着手	整備着手			整備 (25年度)
重症心身障がい者生活介護等受入促進事業						
18 看護師配置に対する補助を活用する生活介護事業所数(累計)	—	—	11事業所			15事業所
障がいのある子どもへの移動支援の充実						
19 就学児の1月あたりの移動支援の平均利用時間	5.44時間	5.98時間	5.59時間			8.87時間
障がい者グループホーム等の拡充						
20 グループホーム等の箇所数	293ヵ所	335ヵ所	356事業			345ヵ所
歩道のバリアフリー化						
21 重点整備地区における生活関連経路の歩道バリアフリー化率	24%	33%	43%			60%
地域ぬくもりサポート事業						
22 ボランティアを利用する障がいのある人	—	—	24人			620人
23 ボランティア登録数	—	—	45人			2,000人
消費者被害防止ネットワーク事業【再掲】						
24 障がいのある人向けの消費者被害防止ネットワーク事業の実施区数	—	3区	5区			10区 (25年度)
障がい者協働事業の拡充						
25 障がい者協働事業実施事業所数	10ヵ所	11ヵ所	12ヵ所			20ヵ所
元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業						
26 受注件数(累計)	182件	418件	1,030件			750件
27 受注金額(累計)	27,108千円	32,745千円	91,299千円			108,000千円
障がい者元気スキルアップ事業						
28 研修を終えた障がいのある人の就職者数(累計)	—	4人	14人			20人
障がい者就業・生活相談支援事業の拡充						
29 就業・生活相談支援事業所数	2ヵ所	3ヵ所	4ヵ所			4ヵ所 (24年度)
30 ジョブサポーター数	—	1人	2人			4人 (24年度)
知的障がい者等を対象としたホームヘルパー養成事業						
31 ホームヘルパー2級資格取得者数(累計)	19人	31人	57人			100人

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街					
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援					
さっぽろ“えがお”指標の動向							
さっぽろ“えがお”指標 実績値の推移に係る検証		(現状値)	23年度末 (実績値)	24年度末 (実績値)	25年度末 (実績値)	26年度末 (実績値)	(目標値)
市民意識・行動指標							
23	週2回以上外出する高齢者の割合	82.8% (22年度)	81.9% (23年度)	85.2% (24年度)			85% (26年度)
		歩道のバリアフリー化の推進などの取組も一因となり、高齢者の外出機会の増加に寄与していると考えられる。					
24	障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う障がいのある人の割合	29.8% (参考値) (22年度)	47.9% (23年度)	49.6% (24年度)			50% (26年度)
		地域における福祉サービスの充実(相談支援事業所の増設やグループホーム等の整備など)が数値上昇に寄与したものと考えられる。					
25	障がいのある人にとって地域で暮らしやすいまちであると思う人の割合	29.7% (22年度)	23.3% (23年度)	28.1% (24年度)			50% (26年度)
		札幌市の障がい者施策について、直接福祉サービスを受けていない市民に対し、取組内容を十分伝えきれていないことが要因の一つと考えられる。					
社会成果指標							
26	要支援・要介護者数の割合	18.5% (22年度)	18.8% (23年度)	19.3% (24年度)			19.1% (26年度)
		本指標は高齢化が進むなか、要支援・要介護者数の割合の伸びを抑えることを目標としており、地域包括支援センターや介護予防センターを中心として、各種介護予防施策の取組などを行っているが、数値は目標値を超えている。					
27	(仮称)救急安心センターさっぽろの相談受付件数	— (22年度)	—	—			130人/日 (26年度)
28	障がい者の入所施設における入所者の地域生活への移行者数(H23～26累計)	274人 (19～22年度累計)	98人 (23年度)	調査中			350人 (23～26年度累計)
		地域での相談支援体制や福祉サービスの充実により、障がい者の地域移行が進んでいると考えられる。					
29	福祉施設(就労支援施設など)から一般就労への移行者数	83人 (21年度)	182人 (22年度)	231人 (23年度)			100人 (26年度)
		障がい者協働事業の拡充等に加え、平成22年7月の障害者雇用納付金制度改正により対象となる事業所等の拡大が図られたことが、数値の上昇につながったと考えられる。					

注:番号は、さっぽろ“えがお”指標の通し番号

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
事業実績、評価と反省、今後の取り組み等		
施策1	福祉・介護・医療の連携による健やかな地域生活の支援	
24年度の主な取組内容(実績)		
高齢者団体が自主的に行うサロン活動等に対し支援を実施。	広域型特別養護老人ホーム(定員80人)3カ所の整備補助を実施。	
救急安心センターさっぽろに関する運営体制などを検討する	精神科救急医療体制強化に向け、北海道など関係機関との	
25年度の主な取組内容(予定)		
地域包括支援センターを6カ所増設。	高齢者団体が自主的に行うサロン活動等に対し、継続して支援を実施。	
65歳以上の市民によるボランティア活動に対しポイントを付与する介護支援ボランティア事業を開始。	広域型特別養護老人ホーム(定員80人)3カ所の整備および福祉避難場所用スペースの整備に対し、補助を実施。	
救急安心センターさっぽろの設置工事の実施およびセンターの運用開始。	精神科救急医療での輪番2体制を実施。	
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【はつらつシニアサポート事業】サロンの設置により高齢者のいきがい活動等の拠点づくりを進めるとともに、高齢者団体の地域貢献活動に対して支援を行うことで、高齢者の社会参加や地域貢献活動促進につながっている。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【(仮称)救急安心センターさっぽろの設置】相談員への十分な研修を行い、電話相談サービスの質の向上を図るとともに、市民に対してセンターを知ってもらうよう普及・啓発活動を進めることで、すべての人が安心して健やかに地域生活を送ることができる社会を目指していく。 【精神科救急医療体制の整備】緊急の精神科医療を要するときに十分な対応ができるよう、輪番2体制とすることで、精神疾患を抱える方等が地域で安心して生活できる社会の構築を目指す。		
施策2	障がい者への一貫した支援体制の構築と自立支援	
24年度の主な取組内容(実績)		
障がい者相談支援事業所の後方支援等を行う基幹センターを新設。	静療院(成人部門)跡施設の改修にかかる基本・実施設計を行い、また工事にも着手。	
障がい者グループホーム等の設置に補助。	北5条線など約15kmで歩道のバリアフリー整備を実施。	
障がい児・者に対する地域住民による有償ボランティア活動を推進するモデル事業を実施。(中)幌西、南円山地区)	障がい者を5名以上雇用する事業所12カ所に対し、補助を実施。(うち1カ所は中央図書館に元気カフェ本の森)	
障がいのある人の雇用促進のため、就業・生活相談支援事業所を1カ所増設。ジョブサポーターを1名配置。		
25年度の主な取組内容(予定)		
障がい者相談支援事業所の後方支援等を行う基幹を新設。	静療院(成人部門)跡施設の改修工事。	
障がい者グループホーム等の設置に継続して補助。	南2・3条中通線(狸小路商店街)などの歩道のバリアフリー整備を実施。	
障がい児・者に対する地域住民による有償ボランティア活動の実施地域を、中央区全域に拡大して実施。	障がい者を5名以上雇用する事業所17カ所に対し、補助を実施(新規5カ所、継続12カ所)。	
障がいのある人の雇用促進のため、ジョブサポーターを1名追加配置。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の状況からみた事業の評価と反省		
【障がい者グループホーム等の拡充】障がい者グループホーム・ケアホーム等の整備を促進し、障がいのある方が地域で暮らしやすい環境の整備につながった。 【障がい者就業・相談支援事業の拡充】障がいのある方の雇用において、職場定着に係る相談支援体制の充実を図ることができ、福祉施設から一般就労への移行者数増加に貢献したと思われる。		
施策への貢献及び成果指標さっぽろ“えがお指標”の達成に向けた今後の事業の取り組み		
【歩道のバリアフリー化】バリアフリー化された歩道のネットワーク構築の早期完成を目指すとともに、ホームページなど広く市民へ情報提供できるコンテンツの充実を図る。 【地域ぬくもりサポート事業】障がいのある方に対し地域住民が有償ボランティア活動を行うという本事業を通じ、障がいのある方に対する理解促進を図り、障がいのある方を地域全体で支えあうまちづくりを進めていく。		

政策目標	2	安心して暮らせるぬくもりの街
重点課題	2	地域で支え合う、健やかでぬくもりあふれる生活への支援
協働の状況		
【はつらつシニアサポート事業】高齢者が地域活動等を行うにあたり、町内会やNPO等と連携、協力を行っている。		
【(仮称)救急安心センターさっぽろの設置】地下歩行空間で市民参加型のカウントダウンイベントを実施し、救急医療の重要性や救急安心センターさっぽろの目的や必要性について、広く市民にアピールした。		
【元気ジョブアウトソーシングセンター運営事業】当該事業のホームページ等を通じて、企業等に対し障がい者施設等で提供可能な各種サービスについて情報提供を行い、理解促進および受発注の拡大に努めている。		